

上半身脱衣による 内科健康診断の実施について



令和2年度から、全ての児童生徒の身体の状態を早く正しく診断するため、内科健康診断を上半身脱衣により実施します。

1年に1回しっかり体の状態を診ます

子どもは成長するにつれ、一人でお風呂に入るようになる等、お家の人が、ちょっとした体の異変に気付く機会がだんだん少なくなっていくます。

そのため、学校での内科健康診断でからだを診てもらうことは、子どもの健康を守るための大切な機会となり、学校医により、一人ひとり、状況に応じて視診、聴診、触診で健康状態を確認しています。

上半身脱衣だったから早期発見できた症例があります

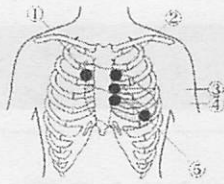
心臓の病気や脊柱側弯症はもちろんのこと、これまで全国では、小中学生で脊柱の病気、高校生や大学生で皮膚がんや乳がん等が見つかった例が報告されています。

内科健康診断で 学校医は主にこんなところを診ています

●心臓の病気

心臓の音や呼吸の様子を診ています

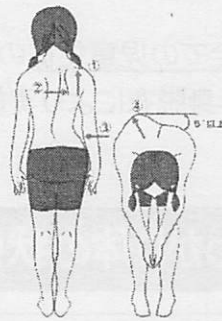
※女子は下着を着けていると心音の聴診場所と重なってしまい、うまく診断できません



(参考)心音の聴診場所

●脊柱側彎症

背骨が曲がっていないか診ています



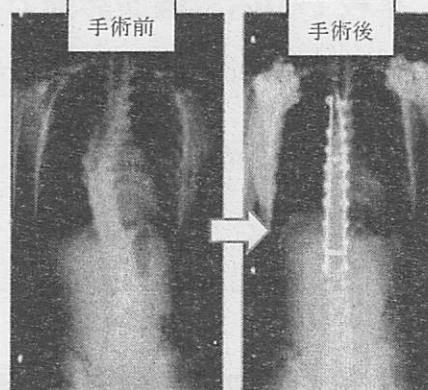
※自覚症状はなく、多くが、小学校高学年～中学生で発症

女子発症率は男子発症率の5～8倍

わん曲が進行すると、胸郭が変形し、肺や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。場合によっては、右写真のように手術が必要となります。

早期発見、早期治療で、発症後の進行をおさえることができます。

脊柱側彎症 胸椎カーブ



●一瞥(いちべつ)診断

皮膚の病気、栄養状態等も診ています。
全体の肌の色艶(いろつや)や左右対称を含めた体のバランスなどから、最初の一瞥(ちらっと見る)の判断がとても大切な手がかりになる場合があります。

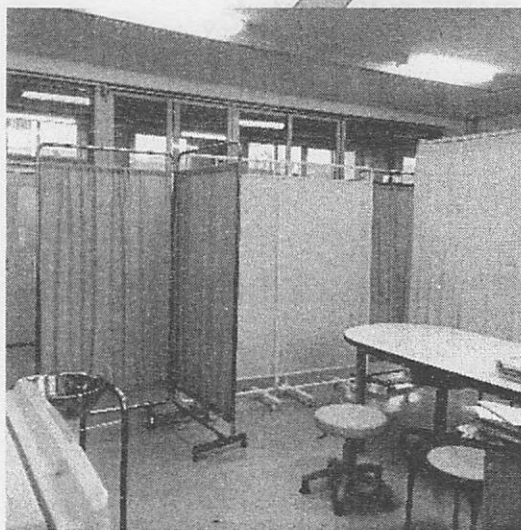
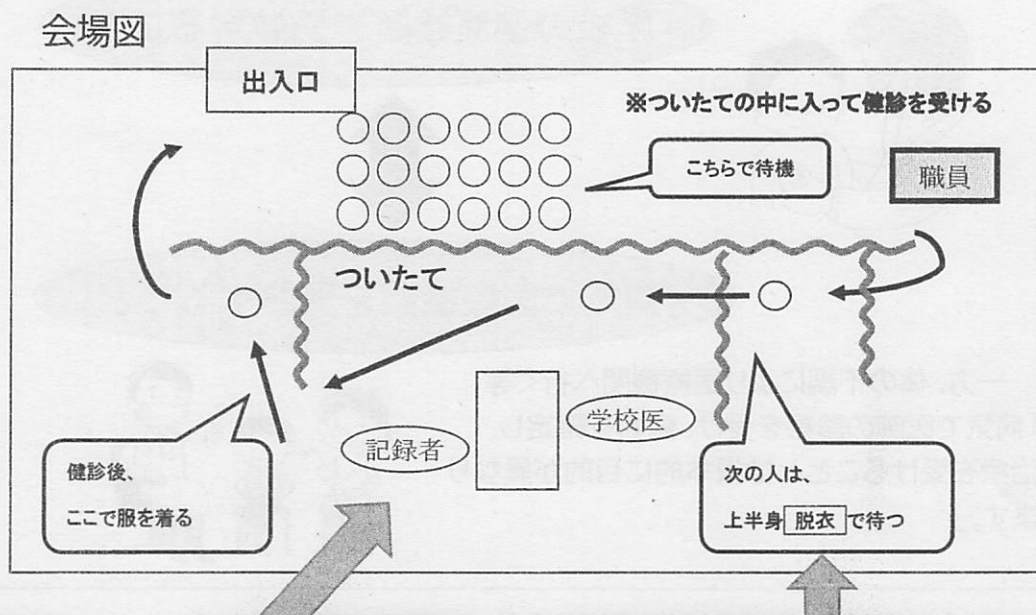


プライバシーに配慮した環境で 安心して受診できます

●内科健康診断の診察は、ついたてを使用し、一人ずつ 行っています。

下の図は、保健室での実施例です。

学校医と記録者(主に養護教諭)だけがいる場所で、安心して受診できるよう配慮しています。



●やむを得ず脱衣での健康診断を受診できない場合は、事前に学校へご相談ください。

おわりに 学校での健康診断について

子どもたちが元気に学校へ通い活動するためには、本人、保護者、学校等が子どもの身体の成長や健康に関心を持つことが大切です。

学校では、教育活動の一部として、子どもの健康をまもるため、子どもへの健康教育に役立てるため、健康診断を行っています。



学校の健康診断を受診すること



病気で医療機関を受診すること

一方、体の不調により医療機関へ行く等「病気で医師の診察を受け、病名を確定し治療を受けることとは根本的に目的が異なります。」



以上、学校での内科健康診断実施の概要を記しました。

この他にも、学校における日常の健康観察や家庭での健康観察が重要であることは言うまでもありません。

子どもの健康保持増進のため、今後ともご協力をお願いします。

令和2年4月

春日井市教育委員会
春日井市学校保健会学校医部会

※ この文書に関するお問い合わせは

春日井市教育委員会学校教育課 電話 85-6441 までお願いします